

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第5回西脇市総合計画審議会
開催日時	令和6年9月2日（月） 午後2時から午後3時50分まで
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の 氏名又は人数	15名
欠席委員の 氏名又は人数	3名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局4名、関係課22名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0名
議題又は 協議事項	1 総合計画・後期基本計画（案）について 2 その他
会議の記録（概要）	
発言者	<p><開会></p> <p>（資料確認）</p> <p>（交代委員紹介）</p> <p>（会議成立の報告）</p> <p>1 会長あいさつ 本日は第5回目の会議となる。前回までの審議内容を受け、事務局によって計画案が作成された。計画案はボリュームが多いため、2回に分けての審議となる。各委員の専門分野、関心の高い分野で忌憚のない意見をいただき、計画に反映できればと思う。よろしく願います。</p>
事務局	
会長	

	<p>2 総合計画・後期基本計画（案）について</p> <p>【序章～第1章】</p>
事務局	資料2に基づき、事務局から説明
副会長	<p>政策6施策4では、学校と家庭や地域の連携について、コミュニティ・スクールの設置などが記載されている。就学前教育を担うこども園においても、こども園での教育だけでなく、地域との交流を深めていくことで、地域でのこども園の価値を高めていくことを目指して、「多機能型のこども園」を目標に掲げている。西脇市もこの考え方に賛同されているため、このことを就学前教育について記載のある政策4に反映しても良いのではないかと。</p>
事務局	<p>学校と地域との連携は重要な視点と考えており、政策6施策4で記載している。就学前教育については政策4で記載しているが、資料1-P16の「現状と課題」において「全国的に子どもの数が減少していく一方で、人手不足により待機児童が発生している」といった課題を記載している。保育教諭の確保が難しいという問題もあるが、中長期的な視点で、待機児童の解消や園児数の減少、多機能化などに対応していく必要があると考えている。認定こども園等と地域の連携についても、どのように計画に反映できるかを担当部署と検討する。</p>
委員	<p>自身も保育教諭の人材確保が非常に困難であることを実感している。最近では、医療的ケアが必要な子どもが病院ではなく家庭で過ごすため、親が看護のために職場に復帰できないという状況がある。様々な特性がある人がいるという環境は学びにもつながるため、多様性の観点からも、認定こども園等で、医療的ケアが必要な子どもの受け入れが進むと良いと思う。</p>
事務局	<p>現在、西脇市では認定こども園等への看護師の配置を支援している。また、医療的ケア児が増加しているという報道があることや関連する法整備も進んでいることから、第2章-政策5施策1には医療的ケア児等コーディネーターの育成についても記載している。認定こども園における受</p>

<p>委員</p>	<p>入体制など課題はあると思うが、いただいた御意見を担当課に伝え、検討する。</p> <p>各政策に「市民に期待される役割」という項目があるが、企業に期待される役割の観点があってもいいのではないか。子育ての分野では、働き続けながら妊娠・出産・育児ができる環境整備や、育児休業の取得しやすさなど、企業の取組が期待されることがある。</p>
<p>事務局</p>	<p>行政だけでより良いまちにしていくことはできず、市民の皆さんと協働でまちづくりを進めていきたい、という思いから、前期基本計画から引き続いて「市民に期待される役割」の項目を設けており、市民の定義に事業者を含めている。</p> <p>御発言のとおり、子育てしやすい環境づくりのためには、事業者の取組も重要であり、本市でも、ミモザ企業の増加などに県と連携して取り組んでいく必要があると捉えている。第4章の労働政策や第5章の女性活躍の分野で御提案の内容を記載しているが、他の分野でも記載できないか検討する。</p>
<p>委員</p>	<p>政策5施策1で少人数制や教科担任制について記載されているが、統廃合によって先生の人数が減るのではないかと懸念している。個性を重視する時代において、先生の数が減るときめ細かな指導が難しくなるように思う。働き方改革によって先生の業務は効率化できるかもしれないが、人間教育の効率化はないと考える。教育の充実のためには、先生の充足が必要だと思う。</p> <p>政策5施策2では体力向上について、政策6施策3では給食について記載がある。体力向上のためには食事が重要であり、食育と合わせた体力づくりが大切であると思う。</p>
<p>関係課</p>	<p>市費で先生を加配している自治体は県内にもあるが、教職員の定数は国が決めている。子どもたちの多様な部分を多様な先生が指導することができるか、という点は非常に重要だと認識している。本市では、教科担任制として、体育と英語で専科の先生を新たに配置することができたが、一方で、専科の先生の配置には一定の学級数が必要となる。子どもたちのため、できることを進めていきたい。</p>

<p>委員</p>	<p>まず、前期基本計画からどう変わったか分かると良いと思う。また、第1章では6つの政策があり、全て重要であると思うが、優先順位をつけることが必要だと思う。上の世代の方からは、学級数が多かった頃の話なども聞くことがある。これまでの施策などを振り返り、失敗やできなかったことなどを改めて認識し、何かを止めることも大切だと思う。</p> <p>若い人が地域に戻ってくるための対策が必要だと思う。前回の審議会でも発言したと思うが、例えば市営のマンションを整備するなど、何か大きな取組が必要だと考える。</p>
<p>会長</p>	<p>総合計画は分野が広く、全面的な改定ということで、前期基本計画と後期基本計画の変化を分かりやすく示すことは少し難しいように思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>行政計画の改定では、内容の見直しや取組の取捨選択、新たな課題への対応などを定めることになるが、一方では行政運営の継続性を確保することも必要となる。このため、一つの計画の中で変わるところと変わらないところが混在するが、変更が多く明示が難しかった。教育分野で例を挙げると、ICT関係が大きく変化した点で、1人1台端末の配置や、文部科学省の支援制度を活用した取組を進めているところである。また、国全体で子どもの数が減少していくという点も大きな変化である。このような環境の変化を踏まえ、政策6では学習規模の適正化について記載し、将来を見据えた対応を進めていくこととしている。</p> <p>これまでの取組を振り返り、対応していくことが必要との御意見について、昨年度総合計画の振り返りなどを実施したところであるが、新たに消滅可能性自治体に該当するなど社会環境は厳しさを増している。人口減少は非常に大きな課題であり、地方単独での対応には限界があるが、そのような中でどのような対応ができるか、対策を考えていくこととしている。</p> <p>また、人口減少を抑制するためには、教育サービスの向上だけでなく、子育て環境や道路などの交通アクセス、若い人たちが地域で働くための産業の充実など、幅広い取組が必要だと考えている。このため、暮らしやすさにつながる総合的な取組と、第3章で記載している移住・定住施策</p>

	<p>を組み合わせ対応していくこととしている。</p> <p>政策の優先付けについては、かねてから課題として指摘がある。費用対効果を高めるために、特定の分野に重点的に取り組むことが有効である一方で、様々な課題を抱えている方への福祉的な支援など、公共的な団体でしか対応が難しい分野も多くある。こうした自治体としての立場も踏まえながら、地域全体のことを考えて政策・施策を定めることが大切だと考えている。</p>
関係課	<p>学校教育の中で何に注力していくか、となると答えることが難しいが、タブレット端末を1つのツールとして「個別最適な学び」を進めることと、学習活動の土台となる「非認知能力」を育成することが小中一貫教育の柱として考えており、新たに計画に記載した。また、先生の個人の能力によらず、同じ教育が提供され続けることも重要であると考えている。</p>
委員	<p>政策6 施策5や先生の負担軽減などに関連し、文部科学省と厚生労働省では、家庭と教育と福祉の連携を図る「トライアングル」プロジェクトが始まっている。例えば、教育現場の先生と放課後等デイサービスのスタッフの連携がシステム化されることで、先生の負担軽減にもつながると思う。また、小さい頃からの特性やエピソードなどを記録したサポートファイルなども活用することで、適切な教育機会の確保につながるように思う。</p>
会長	<p>政策4の政策名と施策1の施策名が重複しているように思う。施策1の名称を整理してはどうか。</p> <p>【第2章】</p>
事務局	<p>資料2に基づき、事務局から説明</p>
委員	<p>政策3の現状と課題で、西脇病院では一部の診療科で常勤医が不在と記載されている。耳鼻いんこう科と泌尿器科の常勤医が不在の状況と認識しており、開業医から西脇病院に患者を紹介する病診連携ができない状態となっている。この点を改善していただきたい。</p>

関係課	<p>西脇病院では、耳鼻いんこう科と泌尿器科の常勤医が不在となっている。大学への要望活動や地縁の人などを辿って医師の確保に努めているが、獲得に至っていない状況である。地域医療の観点からも、経営的な観点からも常勤医の確保が非常に重要なことだと認識しているため、紹介業者による紹介など多角的なアプローチによって、今後も確保に努めていきたい。</p>
委員	<p>政策2施策3に自主防災組織等に対し、AEDの設置や講習会の実施とあるが、同様のことは企業にも求められると思う。また、政策9施策2で消防団活動の支援があるが、消防団活動への配慮を積極的に行うことも企業に期待できると思うため、「市民に期待される役割」に記載できるのではないか。</p>
会長	<p>企業の意識はどの分野でも大切だと思う。</p>
委員	<p>政策5施策2では障害のある人の自立支援について記載があるが、自立は就労だけではないと思う。障害福祉計画ではもう少し詳細な記載があるため、総合計画においてももう少し幅広く記載してもいいのではないかと思う。</p>
副会長	<p>自主防災組織は全町で組織されており、活発に活動している組織がある一方で、運営や活動実態が乏しい組織もあると思う。もう少し行政と地域とが一体となって、組織運営や活動実態の確認、改善に取り組んでいく方が良いと思う。地域も市と連携し、一体となって取り組んでいきたいと考えている。</p>
委員	<p>消防団員の加入促進は重要だと思う。高齢化によって消防団員の数が減少していると思う。消防団の調査や組織の再編など、行政からのアプローチが必要ではないか。また、消防団機能別団員の配置も重要だと思う。</p>
関係課	<p>消防団員の募集は、自治会や消防団員を通じて行われている。現在、消防団の活動については、消防団長等が集まる会議で決めている。消防団員が高齢化し、厳しい状況であることも確認しており、今後は意見交換会などを通じて消防団員の声を聞き活動の改善に取り組んでいきたい。</p>

<p>委 員</p>	<p>兵庫県は消防団の団員数が全国でトップである。一方、西脇市の団員数は40年前の1,100人から現在は860人（黒田庄町含む）まで減少している。高齢化などの要因もあり、参加しやすい消防団活動を目指して、負担軽減や訓練を重視した活動などに取り組んでいる。企業も人手不足のため、消防団活動に以前ほどの理解を得られない状況であるが、引き続き団員の募集を進めたい。</p> <p>消防団の現状や将来のビジョンについて、若手と幹部が意見を交わす意見交換会を今月と2月に初めて実施予定である。区長会とも協力して地域の消防団運営について考えていきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>男女共同参画の活動の中で、若い女性が「自身は消防団へ参加できないのか」と疑問を持っていた。前回の審議会でも自治会における女性の参画について議論があったが、具体的な役割を整理することで、女性の参画が期待できると考える。</p>
<p>会 長</p>	<p>女性にどのように活躍してもらうかは、非常に大事な意見だと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>西脇市では、女性の消防団員がいないが、他市町でも現場での女性の活動実績はなく、大会の司会や老人ホームでの啓もう活動などにとどまっていると聞いている。</p> <p>西脇市でも女性団員を募集するか検討したが、具体的な役割を整理した上で、進めていきたいと考えている。</p>
<p>委 員</p>	<p>子どもがいる状況では、両親が共に災害現場に急行することは難しいため、女性の役割を整理することが大切だと思う。また、会議に女性が参加しているだけでも、違った視点からの意見が期待できると思う。</p>
<p></p>	<p>【第3章】</p>
<p>事務局</p>	<p>資料2に基づき、事務局から説明</p>
<p>委 員</p>	<p>政策7施策3に空き家や空き地について記載がある。自身の地域では「空き家対策プロジェクト委員会」を自治協</p>

	<p>議会で設け、空き家について検討している。人口が減少しているため、これからも空き家が増加すると思われる。特に老朽化した空き家は非常に危険だと感じており、何とか対策を講じていただきたい。</p> <p>また、共同墓地の管理状況にも問題があり、全体的にまちづくりを考えていかなければならないと思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>西脇市に空き家バンクはあるのか。また、危険な空き家と活用できる空き家についての相談窓口は1つか。</p>
<p>事務局</p>	<p>西脇市では、状態の良い空き家については空き家バンクへの登録を進めており、条件の良い物件では、登録後数か月で新たな居住者が見つかる。一方で、老朽化が進む個人の空き家については、市から指導を行っているが、私有財産でもあり対応が難しくなっている。適切な管理が行われていない空き家については、固定資産税等の住宅用地の特例措置の除外規定もあり、所有者に対して丁寧に説明して改善していきたい。</p> <p>また、窓口は1つで、都市住宅課（移住定住・空き家対策推進室）で対応している。</p>
<p>会 長</p>	<p>その他、全体を通して御意見や御質問があれば発言してほしい。</p>
<p>委 員</p>	<p>全体の内容としてはよくまとまっていると思うが、何点か意見を述べたい。</p> <p>資料1のレイアウトについて、現在の案で固まっていくのか。市民の方に分かりやすく伝えるため、配色などを含めてデザインに工夫が必要だと思う。また「主な取組」も見やすい工夫が必要ではないか。資料2のピックアップなども分かりやすいと思う。</p> <p>資料1の「まちづくり指標」は名称のみで数値が掲載されていない。今後、数値を盛り込んでほしい。</p> <p>SDGsと関連付けするのであれば、用語説明に「LGBTQ+」が必要ではないか</p> <p>他の委員からも意見があったが、前期からの変更点やポイントなどを知りたい。一方で、これまでの取組を振り返り、どう評価するかは外部評価の役割だと認識している。</p> <p>「市民に期待される役割」は前期から継続した表現であ</p>

事務局	<p>るが、少し上から目線のように感じる。前期からの表現を継続し、現状のままでも良いと思うが、「市民と協働して実現したいこと」のように、市民と行政がともに実現していくということが表現できると良いと思う。</p> <p>前期基本計画では、政策ごとに「関係する計画」という項目があったが、現在の案では記載がされていない。掲載しないのか。</p> <p>レイアウトやデザインについては、現在作業中であるため、文書作成ソフトで簡易に表現している。前期基本計画から、分かりやすい・見やすい、といった点を重視しており、今後の制作過程でデザインや配色を検討したい。</p> <p>「まちづくり指標」は、基準値となるアンケートをこれから実施予定で、最終的に数値を含めて掲載予定である。</p> <p>「LGBTQ+」については、第6回審議会で審議予定の内容となるため、次回開催時の用語説明の中に関連用語を掲載する予定である。</p> <p>「市民に期待される役割」の項目名について、市民とともにまちづくりを進めていきたいという思いは共通していると考えているが、前期基本計画との関係も考慮して検討したい。</p> <p>「関係する計画」については、前期基本計画でも一覧表を掲載しており、同様の形式で掲載したいと考えている。</p> <p>3 その他</p> <p>活発な御意見や御質問をいただき感謝申し上げます。</p> <p>次回の審議会では4章から7章が対象となるが、引き続き御協力をお願いしたい。</p> <p>また、指標の基準値を測定するために、9月から10月にかけてまちづくり市民アンケートを実施予定であることを報告する。</p> <p><閉会></p>
問合せ先	<p>西脇市市長公室政策推進課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>